

みなとかまいし地区会議概要

①議長：高橋 松一 副議長：菊池 新之助
構成委員：43名

②地域概要：人口－6,983名(H22.12月末現在)
町内会数－29団体

世帯数	みなとかまいし地区会議内 人口		
	計	男	女
3,331世帯	6,983人	3,183人	3,800人

0～14歳			15～64歳			65歳以上		
計	男	女	計	男	女	計	男	女
641人	330人	311人	3,636人	1,811人	1,825人	2,706人	1,042人	1,664人

1	新浜町町内会	11	只越町町内会	21	南通り町内会
2	東前町町内会	12	只越中央通町内会	22	大渡町内会
3	浜町1丁目町内会	13	大只越町町内会	23	駒木町内会
4	仲町町内会	14	大只越町2丁目町内会	24	駒木不動沢町内会
5	浜町3丁目第1町内会	15	日ヶ沢団地町内会	25	鈴子町内会
6	浜町3丁目第2町内会	16	桐ノ木沢町内会	26	松原町内会
7	浜町3丁目第3町内会	17	天神町町内会	27	嬉石町内会
8	浜町3丁目第4町内会	18	天神町第2町内会	28	大平町内会
9	尾崎町町内会	19	天神町第3町内会	29	望洋ヶ丘町内会
10	港町町内会	20	大町町内会		

③会の目的

住みよく誇りの持てるまちづくりのため、地域と行政が一体となって地域の課題、問題を考え、解決策を生み出し、協力して実行すること、また、未来の郷土を担う人材を見出し、育成し、まちの活力にすることを目的とする。

※地域性の違いや町内会数が多いことなどから組織内を4ブロック（「新浜町、東前町、浜町、港町ブロック」「只越町、大只越町、天神町ブロック」「大町、大渡町、駒木町、鈴子町ブロック」「松原町、嬉石町、大平町ブロック」）に分けて活動している

④事業内容

当面の統一テーマを「防災体制の整備」とし、事業を推進することとする。

◎地区会議内の各町内会等の地域課題の把握と課題解決策について市等への要望

- ・地域課題把握のための各町内会への調査依頼

◎防災体制の整備に向けた活動

- ・岩手県立大学との共同研究による『「地域のつながり」の再生による防災まちづくりプロジェクト』の推進

- ※『ジュニア防災リーダーの養成』『地域住民の「つながりの再生」によるまちづくり』が大きな事業の柱

- ・岩手県企業局「クリーンエネルギー導入支援事業補助金」を活用し、地域内4箇所にソーラー式避難誘導標識を設置した（H23.1.7(金)設置工事）

- ・「地震、津波避難啓発ステッカー」の掲示場所の拡大

- ・『災害時要援護者避難支援計画』の策定及び事業推進への協力

- ・その他防災体制の整備に関する事業、活動を実施する。

◎まちのにぎわい創出への取り組み

- ・にぎわいの喪失が進む中心市街地に少しでもにぎわいの創出を図るべく、市の「まちの元気発信事業補助金」を活用して次の事業を行った。
- ・「みなとかまいし文芸散歩」
H22. 10. 30(土)、菊池新之助副議長を講師に、市街地に点在する文学碑、句碑、石碑等をそれぞれの歴史、由来等を説明していただきながら楽しく巡った。
- ・「みなとかまいしウォークラリー大会」
H22. 11. 3(水)、青葉児童公園をスタート、ゴールに、ウォークラリー大会を実施した。参加者は2～6名のチームを組み、「ファミリーの部」と「友だちの部」に分かれ、「コマ図」といわれる地図を頼りに、途中のチェックポイントで問題を解きながら、まちなかに設定されたコースを回った。それぞれの部門の上位3チームに豪華景品を贈った。
- ・「かまいしの思い出を未来へ」完成記念フォーラム
H22. 12. 4(土)、青葉ビルにおいて、昭和初期の釜石各地の風景と現在の姿を対比させた写真集「かまいしの思い出を未来へ」の完成を記念したフォーラムを開催した。フォーラムでは、作品をスクリーンに大きく映写し、内容について紹介したり、作品をご提供いただいた方々から写真の思い出をご紹介いただいたりした。
- ・「地域の志を語る講演会」（仮称）
H23. 3. 13(日)午後2時から、青葉ビル1階研修室において、講師に河野和義さんを（株）八木澤商店代表取締役社長）お招きして、講演会を開催する。講師から、数々の地域おこしを主導してきた経験をご紹介していただきながら、地域おこしに大切なものは何かについて学び、釜石地区のまちづくりとにぎわいづくりに活かしていきたいと考えている。
講師の河野社長は、陸前高田市の「全国太鼓フェスティバル」や「三陸気仙サイクルロードレース」など数々の地域おこしに精力的に取り組んできている。どなたでもご参加できますので、ぜひご参加をお願いします。
- ・「おもしろサイエンスショー」
H23. 3. 21(月)午後1時30分から、市民文化会館中ホールにおいて、おもしろサイエンスショーを開催する。
講師の阿部清人先生（サイエンスインストラクター）は、東北を中心に、楽しい科学実験を紹介するサイエンスショーを年間100回以上行っている。仙台市のラジオ局FMいずみのアナウンサーでもある。どなたでもご参加できますので、ぜひご参加をお願いします。

**平成22年度
地域会議活動事例発表**

みなとかまいし地区会議

議長 高橋 松 一

1. 地域内防災体制の整備



災害対応カードゲーム 「クロスロード」体験会

1. 地域内防災体制の整備



H22.7.29

松原地区コミュニティ消防センターで平成14年7月に発生した台風6号災害の状況を後世に伝え、災害に強いまちづくりを進めたいことと、クロスロード釜石版作成の参考にするために松原町内会並びに消防団の皆さんのご協力のもと、座談会を開催

災害に強いまちづくり のための 「松原地区座談会」



1. 地域内防災体制の整備

H22.10.7、上平田ニュータウン地区
下平田地区、松原地区の3箇所で
フィールドワークと要援護
者（高齢者、視覚障がい者）の
疑似体験及び車椅子体験を実施。



大平中学校
防災フィールドワーク



1. 地域内防災体制の整備

日中



夜間



2. まちの元気発信事業 みなとかまいし文芸散歩



2. まちの元気発信事業 みなとかまいし ウォークラリー大会

H22.11.3
青葉児童公園をスタート、ゴール地点に
「ファミリーの部」と「ともだちの部」
に分かれて競技を実施。



2. まちの元気発信事業

「かまいしの思い出を未来へ」完成記念フォーラム



H22.11.20

青葉ビルを会場に、主に昭和初期の釜石市内の状況と現在の姿を対比させた写真集の発刊を記念したフォーラムを開催。

みなとかまいし地区会議
活動発表 おわり